

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会たよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

冬に必ず雪が降るなんて、びっくり!



上村千紘さん
(荒砥地区)

インタビュー よいごだったなっすー

20代、30代の話を聞いてもらいたい。

「ふなっしー」の地元千葉県船橋市の出身。電車が大好きな2歳の男の子と、畑作りが大好きな優しいご主人、お嫁さんが大好きなお姑さんと暮らす明るいお母さんです。

白鷹町の印象は

四季がはっきりしていることに驚きでした。

冬は必ず雪が降って、春は桜が咲いて、夏はすく暑くて、秋は食べ物がおいしい。トマト一つにしても味が濃いんですね。

言葉はわかりましたか

電話で「ふなっしー」「おしよしな」を連発され、なにを言われているのか全くわかりませんでした。でも今は、ふつうに「おはようさま」って言えますよ。

仕事をするきっかけは

にこぼーとに息子を遊ばせに行った時、カルチャーショックを受けました。「えー！お母さんたち、みんな働いてるの!？」

結婚したら専業主婦になるのが当たり前だと思っていましたから。

それから仕事をしなきゃと探し始めたらしい求人があり、今の職場に。

多忙ですがとてもやりがいを感じています。

町でいいねと思う事は

食べものがとてもおいしいです。特に野菜が。きゅうりを炒めるのは衝撃でした。また、あけびの皮を食べるのもびっくりしました。鯉の甘露煮も初体験でした。

子育て世代には、医療費の無料化やにこぼーとは助かります。

町へ期待することは

病院に小児科があれば大変に助かります。また、自由に遊べる公園がほしいですね。

それから、働くところの充実です。主人も就業するのに苦労しました。私は運良くすぐ就労できましたが、ママ友でも働きたいけど働けない方も多いです。

こんなアイデアも

子どもは電車が大好きです。フラワー長井線で「子守り列車」を走らせてもらえませんか。できれば朝9時の電車があるといいですね。親やおじいちゃん、おばあちゃんに喜ばれると思います。

議会へ望むこと

どんな人がどんな仕事をしているのかわからないので、活動がスマホなどでも簡単に見られるといいですね。

あと、できたら若い人の相談に乗ってもらえるとうれしいです。

20代、30代の不安な気持ちを親身になって励ましてもらえるような環境にしてもらいたいですね。

!?



編集後記

議会開催中に、産建文教常任委員会で萩野地区耕作放棄地整備事業を視察しました。

御影沼付近の7.5haで数台の重機が作業をしていました。用途はほとんど畑作で、加工ブドウ2haを含め、園芸作物とのことでした。山間地（耕作放棄地）での取り組み、新たな息吹を感じました。

不透明な農政の中、積極的農業を称賛するとともに、良きモデルとして頑張ってほしいと思います。

(山田)

広報委員

- 委員長 山田 仁
 - 副委員長・編集長 小口 尚司
 - 委員 石川 重二
 - 委員 佐々木 誠司
 - 委員 笹原 俊一
- 印刷・長谷川印刷